

2022年4月22日

クオラス、テレビCMの広告効果分析サービス「qTAS（キュータス）」を提供開始
—テレビCMモニタリングで効果を可視化し、広告効果の最大化を実現—

株式会社クオラス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：松下幸生、以下クオラス）は、テレビCMの効果をもとにテレビCM出稿のPDCAを可能にすることで、テレビ広告効果の最大化を実現する効果分析システム「qTAS（キュータス）」を開発し、4月22日より提供を開始いたします。



「qTAS（キュータス）」（=quaras Transition Analyzing System）について

本サービスは、テレビCMの効果をもとに、エリア・時間帯・番組・クリエイティブごとに可視化し、データをもとにテレビCM出稿のPDCAを可能にすることで、テレビ広告効果の最大化を実現する効果分析システムです。テレビCMが初めてでも、CM効果の説明が難しいと思っている方にも、qTASが「テレビCMを、もっと、わかりやすく」します。

「qTAS（キュータス）」でできること

これまででは、キャンペーン全体の成否を図ることや、テレビCMの影響度を測ることはできませんでしたが、テレビCMの枠については、評価がしにくいというのが現状でした。「qTAS」ではテレビCM実施時のKPIの動きを、データをもとに可視化。どの枠、どのクリエイティブの効果が高かったのか、変えるべき番組はどれか、などの判断が可能になります。

- ・全国32の全テレビエリアで効果を比較。
- ・放送局ごとに比較。
- ・放送時間帯ごとに比較
- ・番組ごとに比較。
- ・クリエイティブごとに比較。

効果指標（KPI）は「サイト来訪」「コンバージョン」「広告主様規定のKPI」など、商品・サービスによって選択が可能です。

「qTAS」はテレビCMモニタリングからスタートし、今後はデジタル広告にも対応予定。さまざまな機能を追加搭載し、広告主様の広告効果可視化ツールとして充実を図ってまいります。

qTASは、今後もさまざまな機能を追加搭載予定。



※上記は予定となっており、変更になる場合がございます。

サービスサイト URL : <https://quaras.co.jp/qtas/>